

平成31年度久間田福社会事業報告

1. くまだ保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 異年齢児保育

年長児と年中児の異年齢児保育を実施しています。室内の常設コーナー遊び、屋外の自由遊び、リズムあそび、英語あそびなど、異年齢で遊びました。

給食やおやつでは、年長児と年中児は食事の時間帯になると三々五々集まり、自由にテーブルを選び、子ども同士で会話を楽しみました。帰りの会でも、年長児と年中児で、今日あったことを話し、発表し合いました。

異年齢児保育の中で、遊び方の伝承、あこがれ、いたわり、譲り合うなどの気持ちが育まれました。

② 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。全職員の共通理解を求めています。議事録の内容、読み取り方の差異が生じ、目的を達成するまでには至っていません。職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

③ 食育活動

給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、お米研ぎや野菜の下ごしらえ、ふりかけ作り、きなこ作りなど色々なお手伝いを行いました。しかし、冬季に胃腸風邪、ノロウイルス、新型コロナウイルスが流行した時期は、お手伝いを自粛いたしました。

三重県鈴鹿保健所衛生指導課より手洗いチェッカーを借り、4,5歳児を対象に、衛生的な手洗いの仕方について指導を行いました。

季節毎の行事の際には、行事に即した伝統的な料理を提供し、お月見会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等でその料理や食材について伝えてきました。

地域の皆様にご協力頂きながら、米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いました。子どもたちは、火、包丁などを扱うことにも慣れてきました。

④ 英会話

亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)と一緒に英語で遊びました。年長児、年中児、年少児が、英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かしたりして自由に遊び、また、年長児は生活発表会でアビさんと歌っ

た英語の歌や寸劇を発表しました。

⑤ 臨床心理士

毎月 1 度、臨床心理士の鈴木智裕先生より、子どもたちの困っている事やそれに対する関わり方について、助言頂いています。また、希望する保護者に対する面談や小学校への引き継ぎ等も行ってもらいました。また、卒園した小学生の生活や学習の状況も確認してもらいました。

(2) 地域の子育てのサポート

① 園庭開放

地域の子育てのサポートとして、園庭解放(なかよしデー)を5月から2月までの間、原則月2回、年間18回行い、未就園児累計111名とその保護者累計89名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

② 地域活動

西陵中学校の中学2年生を、3人3日間の職場体験を受け入れ、地域の教育支援を行いました。

(3) 高花平保育園との交流

① 両園の栄養士が交互に献立を作成しました。両園の園長と栄養士、調理員、保育士が月1回打合せを行い、献立の反省と検討を行いました。

② 両園園長、主任、3歳未満児・3歳以上児リーダーが月1回、保育の取り組みについての情報交換を行いました。

③ 両園の保育士が年齢別保育研修をしました。年齢に則した発達、保育の進め方、遊び方などの研修を行いました。

④ 生活発表会をお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4) 環境の整備

① 駐車場の整備

職員駐車場が広くなり、駐車スペースのラインを引いたので、駐車しやすくなりました。また、保護者が利用する駐車場も整備し、利用しやすくなりました。

② 登降園管理システムを設置しました。

保育業務省力化の補助金を利用し、登降園の管理ができるICTを設置しました。園

児一人一人の登降園時刻、出欠席状況が認知できるシステムです。残保育料の計算、出席簿の記入等、保育士の事務が省略化される予定です。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、未だ、利用が滞っています。

③ 非常食を追加備蓄しました。

機能強化補助金を利用して、非常食を追加しました。非常事態に、食物アレルギー児の喫食状況の把握が難しいことが予測されるので、アレルゲン除去のクッキー、米飯を購入しました。100人の園児が10回分喫食できる米飯と3回分のおやつ、えいよかんとクッキーの非常食が備蓄されました。

(5) 行事

行事は、表1のとおり実施しました。

また、毎月、避難訓練、お誕生、発育測定を行いました。

10月末から12月初めにかけて、試食会(保育参観・給食試食・個人懇談)を行いました。

4月	1日	入園式
5月	11日	わくわく広場・懇談会
	15～17日	西稜中職場体験
6月	5日	内科検診
	6日	歯科検診集団適応検診
7月	5日	七夕会
	20日	夕涼み会
10月	5日	運動会
11月	6日	動物園見学(年長児)
	7日	指導監査
	9日	竹馬教室(年中児)
12月	5日	集団適応検査(年中児)
	20日	クリスマス会
1月	10日	子ども新年会
2月	3日	豆まき会
	21日	生活発表会
3月	3日	ひな祭り会
	4日	内科・歯科検診
	24日	おわかれ会
	28日	卒園式

表1

2. 高花平保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① よく遊ぶことについて

さくらんぼリズムや、竹馬づくり、英語遊びなどについては、例年通り行いました。

アビゲイル・ロイドさんによる英語遊びでは、従来4歳児(きりん組)・5歳児(らいおん組)だけで行っていましたが、3歳児(りす組)も年度末には参加して一緒に英語で遊びました。また、ダンスの体験教室も行いました。

体を動かして遊ぶ時間として、園庭で遊ぶ時間を増やしました。これにより、給食も沢山食べるようになりました。

② 異年齢時保育について

4歳児(きりん組)・5歳児(らいおん組)の室内あそびを、行き来が自由な常設コーナー遊びとしています。4歳児・5歳児が異年齢で混ざり合い、様々なコーナーから自分のやりたい遊びや一緒に遊びたい友だちを探しています。また、年度末には3歳児(りす組)も混ざって、4歳児や5歳児からコーナーでの遊び方を伝えられていました。

また、5歳児の当番活動には3歳児のお手伝いがあり、毎日交代で3歳児のお手伝いとして、お昼寝布団敷きや、室内や園庭での遊びを一緒にしました。

2歳児(ぺんぎん組)と0・1歳児(ひよこ組)の部屋がトイレでつながっていたり同じ裏庭で遊んでいたりすることから、自然に一体となって遊んでいました。

異年齢で過ごすことにより、自分のやりたい気持ちだけでなく、小さい子を思いやる気持ちも育ち、また、大きい子に憧れ挑戦する気持ちも育ってきています。

③ 食育について

一年を通じて園庭で野菜をつくり、食物の育成から調理までの食育体験を行いました。

米作りについては、例年通り、足洗い場を利用した小さな田んぼで行いました。5歳児(らいおん組)が種まき、田植え、稲刈り、脱穀、精米、炊飯を行い、いつも食べているお米がどの様にして出来ているのか体験しました。

④ 職員間の情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通の物とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。全職員間

での共通理解や意識の統一に努めていますが、より一層の努力の必要性を感じています。また、職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

⑤ 臨床心理士

概ね2ヶ月に1度、臨床心理士の鈴木智裕先生に来園して頂き、子どもたちの様子の観察と子どもたちが困っていることや大人の関わり方などについて助言して頂いています。また、希望する保護者への面談や、少し気になければいけない子について小学校への引き継ぎなども行って貰いました。

⑥ 新型コロナウイルス対策について

年度末より本格的に新型コロナウイルスの感染拡大防止が叫ばれるようになり、当園でも登園前の体温チェックや発熱時の対応、換気や施設内の消毒の徹底など各種対応を行いました。また、お別れ遠足(鳥羽水族館行き)の自粛、卒園式の縮小開催など行いました。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 高花平幼稚園との定期的な交流（幼保交流）と高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業（ふれあい会や高花平小学校1年生を含めた合同ふれあい音楽会）等、地域の各団体との交流を行いました。
- ② さくらんぼ会を通して、地区内外の親子に保育園を利用してもらい、また、子育て相談にも応じました。未就園児累計79名とその保護者累計55名に保育園を利用いただき、子育て相談に応じました。
- ③ 一時保育事業では、延べ51人の利用がありました。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園園長とくまだ保育園在籍の栄養士が毎月1回打合せをくまだ、高花平と場所を変えて、園長、主任保育士、栄養士、給食調理員と、食育・献立について話し合いました。
- ② くまだ保育園と高花平保育園の園長・主任保育士・副主任保育士が概ね二ヶ月に一

度集まり、現状の課題やこれからの保育の方向性について話し合いました。

- ③ くまだ保育園と高花平保育園の保育士で、年齢別保育研修をしました。年齢に即した発達、保育の進め方、遊び方などの研修を行いました。
- ④ 運動会、生活発表会はお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4)環境の整備

- ① 大型遊具の下に敷いた落下対策用ゴムチップ(置き型)が、経年劣化で地面から浮いてきて子どもたちがつまづいていたため、地面埋め込み型に変更しました。
- ② トイレの床のコーティングが全て剥がれていたため、再コーティングし、衛生状況を改善しました。
- ③ 3歳児室・4歳児室・5歳児室・給食室の天井に装飾として天窓が設置されており、真夏に直射日光が差し込んでいたため、天窓をふさぎ、暑さ対策としました。
- ④ 3歳児室・4歳児室・5歳児室の廊下を遊びスペースとしましたが、曇天・雨天の際に照度が足らなかったため、同じく照度不足の3歳未満児廊下と併せて照明を追加しました。
- ⑤ ホールの机・椅子を更新し、落ち着いて安全に食べられるように環境整備を行いました。また、食事後の片付けも省力化できました。
- ⑥ 検食用ストッカーが老朽化し庫内温度が安定しなくなったため、更改しました。また、電解水生成装置を新設し、施設内消毒及び手指消毒用の電解水を施設内で生成できるようにしました。
- ⑦ その他老朽化した設備・備品や、使用されず放置されていた設備・備品の整備と整理整頓を行いました。

(5)行事

行事は表 2 のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

試食会、保育参加を開催しました。また、保護者懇談会を二度開催しました。

4月	2日	入園式
	27日	親子で遊ぼう会
5月	22日	幼保交流（幼稚園）
6月	14日	幼保交流（保育園）
	25日	プラネタリウム見学(5歳児)
	27日	ふれあい会
7月	5日	七夕会
	8日	幼保交流（小学校プール）
	11日	幼保交流（小学校プール）
	2日	夏まつり
8月		
9月	2日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会
	10日	ふれあい会
10月	13日	運動会
	15日	消防署防災指導
	16日	サッカー教室(幼稚園合同)
	26日	竹馬教室
	27日	地区文化祭（5歳児）
	31日	秋の遠足
11月	6日	動物園見学(5歳児)
12月	20日	クリスマス会
1月	13日	ふれあい会
2月	3日	豆まき会
	15日	生活発表会
	17日	ふれあい音楽会
3月	3日	ひな祭り会
	12日	歯科検診 新入園児説明会
	18日	内科検診 新入園児説明会
	24日	お別れ会
	28日	卒園式

表 2

3. 本部事業報告

令和元年度の法人本部の動きは以下の通りです。

(1) 令和元年度第1回理事会の開催 令和元年5月25日開催

- 第1号議案 理事長業務執行状況の報告について
- 第2号議案 平成30年度決算について
- 第3号議案 社会福祉充実計画の実施状況について
- 第4号議案 定時評議員会招集について
- 第5号議案 くまだ保育園の駐車場整備事業計画について

(2) 令和元年度定時評議員会の開催 令和元年6月15日開催

- 第1号議案 理事・監事の選任について
- 第2号議案 平成30年度決算計算書類の承認について
- 第3号議案 社会福祉充実計画実行状況について
- 報告事項1 理事長執行状況報告について
- 報告事項2 社会福祉充実計画の実行状況について

(3) 令和元年度第2回理事会の開催 令和元年6月15日開催

- 第1号議案 久間田福社会理事長の選任について
- 第2号議案 就業規則の改正について
- 第3号議案 定款細則の改正について
- 報告事項1 駐車場土地取得状況の現況について

(4) 令和元年度第3回理事会の開催 令和2年1月18日開催

- 第1号議案 評議員候補者(案)について
- 第2号議案 評議員選任解任委員会の招集について
- 第3号議案 定款変更(案)について
- 第4号議案 評議員会の招集について
- 第5号議案 補正予算(案)について
- 報告事項1 社会福祉法人施設指導監査結果について

(5) 令和元年度第2回評議員会の開催 令和2年2月1日開催

- 第1号議案 定款変更(案)について
- 報告事項1 理事長職務執行状況について

(6) 評議員選任解任委員会の開催 令和2年2月25日開催

第1号議案 評議員選任について

(7) 令和元年度第4回理事会の開催 令和2年3月14日開催

第1号議案 2019(令和元)年度 第2次補正予算について

第2号議案 2020(令和2)年度 事業計画について

第3号議案 2019(令和1)年度 次年度予算について

第4号議案 2020(令和2)年度 執行体制について

第5号議案 就業規則・パートタイマー就業規則変更案について

第6号議案 給与規定変更案について

報告事項1 新評議員の選任結果報告について

報告事項2 定款変更手続き完了報告

2020年度久間田福祉会事業計画

2020年度も引き続き、自分で考えることが出来る子どもの育成を目指して、子どもの自主性・主体性を保障して保育していくことが何より重要だと考え、また、「地域における児童福祉の核になる」ことを目指し、努力し続けたいと考えています。また、鈴鹿市、四日市市の動向次第では、くまだ保育園・高花平保育園の認定こども園への移行手続きを具体的に進める局面にきており、地域の子どもたちにとって、よりよい選択が出来るよう検討を行います。

1. くまだ保育園事業計画

(1) 子どもを見守る保育を

- ① 個として、また、集団としての子どもの力を信じて、子どもを見守る保育を進めていく。保育の専門職として、子どもの姿をよく見て子どもの発達に基づいて考え、子どもの心の動きや子どもの心に生じた疑問をくみ取り、保育を発展させていく。また、保育者の気持ちを押しつけすぎず、子どもの自主性や主体性を伸ばしていく。
- ② 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- ③ 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- ④ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ⑤ イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。
- ⑥ 食育活動として栄養士とともに、子どもの声に基づいた食育活動に取り組む。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。
- ② 一時保育は自主事業として行っていく。

(3) 高花平保育園との交流

- ① 高花平保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。

② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

③ 質の高い保育を目指し、保育士集団の質をリーダー会が中心になって進める。

(4) 環境の整備

① 園舎設備や遊具の老朽化への対応を行う。

(5) 行事予定

① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。

② 通年で試食会、保育参観、個人懇談を行う。

③ その他行事予定を表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 内科検診
7月	七夕会 子ども夏まつり
8月	
9月	
10月	運動会 遠足
11月	東山動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足
3月	ひな祭り会 内科検診 歯科検診 お別れ会 卒園式

2. 高花平保育園事業計画

(1) 子どもを見守る保育を

- ① 個として、また、集団としての子どもの力を信じて、子どもを見守る保育を進めていく。保育の専門職として、子どもの姿をよく見て子どもの発達に基づいて考え、子どもの心の動きや子どもの心に生じた疑問をくみ取り、保育を発展させていく。また、保育者の気持ちを押しつけすぎず、子どもの自主性や主体性を伸ばしていく。
- ② 子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとしてできるように努め、子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園を目指して保育をしていく。
- ③ 異年齢での関りを多く持ち、子ども同士で育ちあうような保育環境を整える。
- ④ 食育活動として栄養士とともに、子どもの声に基づいた食育活動に取り組む。
- ⑤ イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。また、異文化で育った子どもが多数在園する園としての在り方を模索する。
- ⑥ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(さくらんぼ会)は毎月第2、第4木曜日に行う。
- ② 一時保育事業を、地域に開かれた保育の場として実施する。
- ③ 園庭解放時・一時保育時などに、子育て相談を受け付ける。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
- ③ 質の高い保育を目指し、保育士集団の質をリーダー会が中心になって進める。

(4) 環境の整備

- ① 園舎の修繕・改造を適宜行い、子どもが安心して生活できる環境を維持していく。
- ② 園庭隅の一角を田んぼとして整備し、食育活動につなげると共に、簡易なビオトープとしても活用する。

(5) 行事予定

- ① 行事は何のために実施するのかの検討をその都度行う。
- ② 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ③ 試食会、保育参観、保護者懇談会の開催。
- ④ その他行事を、以下の表に示す。

月	園単独行事	他団体交流行事
4月	入園式	
5月	親子で遊ぼう会	幼保交流(@幼稚園)
6月	プラネタリウム見学(5歳児)	ふれあい会(地区社協) 幼保交流(@保育園) 幼保交流(@小学校プール)
7月	たなばた会 夏まつり	幼保交流(@小学校プール) 幼保交流(@小学校プール)
9月	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会 栗ひろい(5歳児)	ふれあい会(地区社協)
10月	運動会 遠足	消防署防災指導(幼稚園合同) 地区文化祭(地区社協)
11月	動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児) 新入園児面接	
12月	クリスマス会	
1月		ふれあい会(地区社協)
2月	豆まき会 生活発表会	ふれあい音楽会(地区社協)
3月	ひな祭り会 内科・歯科検診 新入園児説明会 お別れ遠足(5歳児) お別れ会 卒園式	